

■ 地域人材を活用した、漁業体験の実施

★活動に関連する目指す子ども像



「身近な人々や自然、地域社会や文化等とのかかわりについて探究することを通して、自ら課題を見付け、主体的に判断し、問題を解決する力」

□ 活動の概要



サケの稚魚放流体験や地引き網漁体験等の地域の漁業関係機関と連携した体験活動を通して、地域の産業についての理解を深め、ふるさとへの誇りと愛着の心を育成することをねらいとして、4月～12月の間に全学年の生活科及び総合的な学習の時間で体験活動を実施しています。

□ 活動の具体

- ・地域の漁業関係機関の協力の下、4月の稚魚の放流体験、6月の地引き網漁体験及びサケの生態と漁業についての出前授業を通して、地域の基幹産業である漁業について学んでいます。
- ・漁業体験を通して学んだことを、スライド資料にまとめ、発表を行っています。

□ 教育課程上の工夫

- ・地域の漁業関係者の方々を講師で招き、サケを使った調理実習を行うなど、地域資源であるサケを活用した食育と関連付けた体験活動を実施できるよう指導計画を工夫しています。
- ・年間を通じて漁業についての理解を深められるよう、地域の基幹産業である漁業に関する学習を中心に、ふるさと学習を教育課程に位置付けています。